

交流を支援しており、EU(欧州連合)レベルでも、域内各国のクラスター交流のためのサイトも立ち上げられている。

日本との交流もいくつかの事例がある。ノルトライン・ヴェストファーレン州にあるナノ・マイクロテクノロジーのクラスターIVAM は日本の財団法人マイクロマシンセンターと協力関係にあるほか、東北大学との交流も実施している。さらにIVAM のメンバーには医療機器関係の企業が多いことから、福島県との交流も実施した。

バイエルン州のクラスターでは、医療クラスターとメカトロニクス・クラスターがさいたま地域との交流を実施している。さいたまの企業はドイツ企業から技術を導入したり、ドイツ企業がさいたま企業の販売網を利用し、アジアでの輸出を行うなどの成果を挙げている。

また、さいたまの企業は、ドイツのクラスターを通じ、ドイツの応用研究機関であるフラウンホーファー

研究所やミュンヘン工科大学などを利用することも可能となっている。

(注)

本稿は、公益財団法人 JKA より補助金を受けて開催したドイツのクラスター研究会の報告書(『地域経済の発展に貢献するドイツのクラスター』ITI 調査シリーズ No.24)を取りまとめたものである。

(参考資料)

ドイツ連邦経済エネルギー省・ドイツ連邦教育研究省、Clusterplattform Deutschland
ドイツ連邦教育研究省、Deutschland Spitzencluster

バイエルン州経済・メディア・エネルギー技術省、Cluster-Offensive Bayern

ノルドライン・ヴェストファーレン州、Exzellenz NRW Cluster Nordrhein-Westfalen

経済産業省：「産業クラスター政策について」
文部科学省：「知的クラスター創生事業」

永野 博『ドイツに学ぶ科学技術政策』近代科学社、2016年[SA1]